

Program

シューマン／リスト：「献呈」 S.566

シューマン：アレグロ ロ短調 Op.8

シューマン：ピアノ・ソナタ第1番 嬰ハ短調 Op.11

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第8番 ハ短調 Op.13「悲愴」

ショパン：幻想即興曲 嬰ハ短調 Op.66(遺作)

ショパン：12の練習曲 Op.10-12 ハ短調「革命」

12の練習曲 Op.10-3 ホ長調「別れの曲」

ショパン：ノクターン 第20番 嬰ハ短調 “レント・コン・グラン・エスプレッシオーネ”

ショパン：ポロネーズ 第6番「英雄」変イ長調 Op.53

*曲目・曲順は変更になる場合がございます。予めご了承ください。

Profile 仲道 郁代 Ikuyo Nakamichi (Piano)

<http://www.ikuyo-nakamichi.com>

4歳からピアノを始める。桐朋学園大学1年在学中に第51回日本音楽コンクール第1位、増沢賞を受賞。文化庁在外研修員としてミュンヘン国立音楽大学に留学。ジュネーヴ国際音楽コンクール最高位、メンデルスゾーン・コンクール第1位メンデルスゾーン賞、エリザベート王妃国際音楽コンクール第5位と受賞を重ね、以後ヨーロッパと日本で本格的な演奏活動を開始。88年に村松賞、93年にモービル音楽奨励賞を受賞。古典派からロマン派まで幅広いレパートリーを持ち、これまでに日本の主要オーケストラはもとより、海外のオーケストラとの共演も数多く、人気、実力ともに日本を代表するピアニストとして活動している。

これまでにサラステ指揮フィンランド放送交響楽団、マゼール指揮ピッツバーク交響楽団、バイエルン放送交響楽団、フィルハーモニア管弦楽団、ズッカーマン指揮イギリス室内管弦楽団(ECO)、フリーベック・デ・ブルゴス指揮ベルリン放送交響楽団、P.ヤルヴィ指揮ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団などのソリストとして迎えられ高い評価を得ている。また、99年にはカーネギーホールでサイタル・デビュー、2001年にはサンクトペテルブルグ、ベルリン・フィルハーモニーホールでコンチェルト・デビュー。05年には、英国チャールズ皇太子夫妻ご臨席のもとウィンザー城で行われたイギリス室内管弦楽団(ECO)主催の「結婚祝祭コンサート」に出演し絶賛された。室内楽ではストルツマン、ハーゲン弦楽四重奏団、ブランデイス弦楽四重奏団、ベルリン・フィル八重奏団等と日本ツアーを行い、いずれも好評を博す。2019年秋にはゲヴァントハウス弦楽四重奏団との日本ツアーが予定されている。

CDはソニー・ミュージックジャパンと専属契約を結び、レコード・アカデミー賞受賞CDを含む「ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ全集」や、「モーツァルト：ピアノ・ソナタ全集」、「シューマン：ファンタジー」、古楽器での録音など多数リリースしている。著作には『ピアノの名器と名曲』『ショパン 鍵盤のミステリー』『ベートーヴェン 鍵盤の宇宙』(ナツメ社)、『ピアニストはおもしろい』(春秋社)等がある。

2018年よりベートーヴェン没後200周年の2027年に向けて「仲道郁代Road to 2027 プロジェクト」をスタートし、リサイタルシリーズを展開中。

一般社団法人音楽がヒラク未来代表理事、一般財団法人地域創造理事、桐朋学園大学教授、大阪音楽大学特任教授。

りゅーとぴあ
コンサートホール
新潟市民芸術文化会館

〒951-8132
新潟市中央区一番堀通町3-2

©Kiyotaka Saito

